

このサイトはAvast Business製品専用です。AVG Business製品に関する記事については、[AVG Business ヘルプを参照してください](#)。適切な場所にも探している情報が見つからない場合は、[Avast Businessサポートに連絡して](#)さらにサポートを受けてください。

現在の場所: ローカルクライアント > Linux > 更新 > ウィルス

ス対策の更新

Linux 用ウイルス対策ソフトウェアの更新

この記事は以下に適用されます:

- Linux 向けAvast ビジネス アンチウイルス

Linux 関連の完全なドキュメントについては、[『Avast Business Antivirus for Linux テクニカルガイド』](#)を参照してください。

VPS アップデート

ご了承ください32ビットオペレーティングシステムでまだ実行されているすべてのレガシーウイルス対策バージョンのVPSアップデートは、2023年に中止されます。([Linux 用ウイルス対策のレガシー情報](#)を参照してください)。

保護を最新の状態に保つには、ウイルス定義データベース (VPS) を定期的に更新する必要があります。Avast Business Antivirusには、最新の VPS をチェック、ダウンロード、インストールするシェル スクリプトが用意されています。更新スクリプトはデフォルトでインストールされ、systemd タイマーとして 3 時間ごとに実行されます。

Avast は増分更新を使用するため、更新データの平均サイズは 0.5 MB 未満です。

ローカルウイルス定義ミラー

ローカルのミラーリングされた VPS リポジトリを使用することもできます。これは、ローカル ネットワーク上で複数の Avastインストールを実行している場合に便利です。ローカル VPS ミラーをセットアップするには、公式のパブリック リポジトリのコピーを提供できるローカル HTTP サーバーが必要です。ローカル リポジトリのコピーを取得するには、次のコマンドを使用します。

- `$ wget --mirror --no-host-directories --cut-dirs=2 ¥ "http://linux-av.u.avcdn.net/linux-av/avast/x86_64/vps9/"`

- **32ビットシステムではx86_64をi386に置き換える**

Avastが VPS アップデートに使用するVPS リポジトリ URL を変更するには、`/etc/avast/vps.conf`設定ファイルを編集します。

古いウイルス定義ファイルの削除

ローカルデバイス

更新ミラーを使用していない場合、ウイルス定義ファイルの削除は自動的に行われるため、ユーザーの介入は必要ありません。ただし、ウイルス定義フォルダーが自動的に消去されないことに気付いた場合は、インストールされている最新バージョン以外のすべてのファイルを手動で削除し、デバイスを再起動してください。問題が再発する場合は、システム ログ () を収集し、分析のために `Avast/var/log/system.log Business` サポート チームに送信してください。

ミラーの更新

更新ミラーを使用している場合は、ミラーのウイルス定義フォルダを定期的にクリーンアップする必要があります。これを行う 1 つの方法は、古いウイルス定義ファイルを手動で削除することです。または、`crontab` に `cron` ジョブを追加して、自動削除をスケジュールすることもできます。`cron` ジョブを使用すると、削除の発生 (たとえば、毎月) を設定したり、削除するフ

イルを指定したり (最新バージョンの削除を回避するため) できます。

たとえば、毎月 1 日の午前 0 時に実行され、15 日より古いすべてのウイルス定義ファイルを検出して削除する cron ジョブを作成するには、次のコマンドを使用します。

- `0 0 1 * * find <path to vps9 folder> -mtime +15 -delete`

セキュリティに関する考慮事項

更新ファイルはAvastによって署名されており、アプリケーションは更新を適用する前に署名を検証します。

関連記事：

[Linux 用ウイルス対策ソフトウェアのインストール](#)

[Linux 向けウイルス対策のライセンス](#)

現在の場所: [ローカル クライアント](#) > [Linux](#) > [更新](#) > [ウイルス対策の更新](#)